

コード	402070401
記入日	H24.5.16

課コード	115
課名	農林課
課長名	幹 保孝
担当者	古川 利久

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	ながさき森林づくり担い手対策補助事業
----------	--------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	2
事務事業コード	4020704	事務事業名称	林業組織強化事業費	細目コード	909
関連計画		法令・条例規則等	森林法、新上五島町林業振興奨励事業費補助金交付規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 森林所有者		(対象指標1) 6人 (森林組合)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・減少する林業の後継者を確保するために、林業者の福利厚生費の助成を行った。 →補助対象人数 6人 (補助金は、五島森林組合上五島支所に一括交付している)	***** 補助金交付件数	***** 1件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成23年度
		① (達成率分析)	五島森林組合からの取りまとめ申請があり、内容を確認し、補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・林業者に対して、福利厚生費 (社会保険) の助成を行うことで、林業の担い手を確保するとともに、林業者の経営の安定を図ることを目的にしている。	***** 林業担い手数	***** 6人	***** 1.00	***** 林業担い手数÷ 前年度担い手数	***** 平成23年度
		① (達成率分析)	要綱に照らし合わせ、条件にあう6名 (森林組合) を補助助成としている。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	7	7	6	1	1				
	②									
成果指標	① 人	34	34	28	6	6				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	18,555	18,555	15,229	3,326	3,326				
直接事業費 A	千円	8,755	8,755	6,829	1,926	1,926				
人件費 B	千円	9,800	9,800	8,400	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	1.4	1.4	1.2	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	4,903	4,903	3,940	963	963			
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	13,652	13,652	11,289	2,363	2,363				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	林業担い手の確保により安定的な林業が可能になる。また、森林の整備による公益的機能の高度発揮につながる。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	林業者の負担の軽減が図られ安定した雇用が継続されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	福利厚生に加え、技術向上においても助成対象であることから有効に活用する。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	新規に4名の担い手が加わり一定の効果が得られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	県の補助金を活用しているため削減は難しい。また、県の示す標準単価による助成で一定額となっている。

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	林業者の負担軽減に努めながら、制度の趣旨どおり林業者の福利厚生費の助成を行っている。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。